



平成 30 年 8 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社カッシーナ・イクスシー
代表者名 代表取締役 社長執行役員 森 康洋
(JASDAQ・コード番号 : 2777)
問合せ先 取締役 執行役員管理部長 小林 要介
電 話 03 - 6439 - 1360

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績等の動向を踏まえ、平成30年2月9日に公表いたしました業績予想を、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 12 月期第 2 四半期累計期間(平成 30 年 1 月 1 日 ~ 平成 30 年 6 月 30 日)連結業績予想の修正

単位：百万円

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
					円 銭
前回発表予想 (A)	5,800	90	70	45	11 86
今回発表予想 (B)	5,536	20	16	28	7 59
増減額 (B) - (A)	264	70	54	73	
増減率 (%)	4.6	77.8	77.1	-	
(ご参考) 前年同期実績 平成 29 年 12 月期第 2 四半期実績	5,497	15	11	4	1 21

2. 業績予想の修正理由

当第 2 四半期累計期間において、カッシーナ・イクスシーの法人向け売上が予想を下回ったことや連結子会社であるコンランショップ・ジャパンの旗艦店である新宿本店、丸の内店における家具販売が予想を下回ったことを主な要因として、売上高が前回発表予想を下回る見込みであります。

また営業利益につきましては、コンランショップ・ジャパンにおいて商品構成の変更などにより粗利率は改善しましたが、売上が予想を下回ったことで黒字転換することができなかったことが響き、前回発表予想を下回る見込みであります。

営業外損益、特別損益及び税金費用につきましては、おおむね予想の範囲内となりました結果、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても営業利益の予想修正とほぼ同様の理由により、前回発表予想を修正するものであります。

3. 今後の見通し

平成 30 年 12 月期通期業績予想につきましては、カッシーナ・イクスシーの首都圏における設計事務所、デザイン事務所向け営業部門において第 3 四半期以降の受注が順調に積み上がりつつあることや、第 4 四半期に予定している大阪店と名古屋店の改装に伴う売上の押し上げ効果が期待できること、またコンランショップ・ジャパンにおいて、第 3 四半期以降に投入する付加価値の高いオリジナル商品によって収益性が改善する予定であることから、前回発表予想である売上高 12,500 百万円、営業利益 650 百万円、経常利益 610 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益 390 百万円を修正いたしません。

4. その他

上記の業績予想につきましては、本資料の発表時点において入手可能な情報及びその業績に影響を与える不確実な要因に係る仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上